

日田市ホームページで紹介されました



三隈中学校新校舎の建設について

最終更新日: 2007年2月2日



日田市では平成18・19年度の2か年で、昭和58年に建設された三隈中学校の新校舎建替え工事を行っています。

- 1 総工費
12億1,000万円(予算)
- 2 構造
耐火鉄骨造4階建
- 3 延床面積
約6,400平方メートル
- 4 特徴

太陽光発電システムの導入、昇降機設置の導入、内装材等への県産材の積極的な利用、生徒が既存の校舎や運動場を利用しながら新校舎を建設するという従来とは異なる建設方法を採用

校舎の建設方法

従来の校舎建替えでは、仮設校舎を運動場に設置し、既存校舎を解体した後、工事着手という手順で工事を行っていました。

今回の校舎建設に際しては、仮設校舎を設置せずに校舎を建設するとともに、従来の鉄筋コンクリート造という構造の資材も視野に入れ、工事費の削減、生徒への環境変化に対する軽減、工事期間中の運動場の利用、工事期間の短縮等を検討し、ミラクル構法の採用を決定しました。

ミラクル構法と鉄骨造

ミラクル構法及び鉄骨造の採用により、次のような改善が図られたと考えています。

1. 仮設校舎を設置しないため、約9,800万円の工事費が削減される。
 2. 仮設校舎を設置しないため、従来の方法であれば20ヶ月間は使用できない運動場が、通常どおり利用できる。
 3. 仮設校舎を設置しないため、生徒に与える環境変化が少なく、引越しも1回で終わる。
 4. 鉄骨構造となるため、工期の短縮及び基礎の軽減が図れるとともに、従来にない一様型中廊下式の採用により、約6,500万円の工事費が削減される。
 5. 従来の校舎建設では、2年・3年の在校生は新校舎に入れられないまま、仮設校舎で卒業していたが、この構法及び鉄骨構造の採用により、2年生はもろろ3年生についても、卒業前に新校舎に入れる。
 6. 一様型中廊下式の採用により、運動場と既存校舎の間のスペースが広くなり、第二運動場などでの利用が図られる。
- なお、工事費の削減額は約1億8,000万円を見込んでいます。

今後の予定

平成18年3月までには、中庭部分及び北側校舎上の4階部分の新校舎が完成し、少しの間ではありますが、3年生が新校舎に入れる予定です。

引越したあと、春休み期間を中心に、既存北側校舎の解体を行い、残りの新校舎建設に着手し、平成20年1月までに、既存南側校舎の解体が終了する予定です。

また、校舎建設終了後は、体育館の建設と新校舎周辺の外構整備を併せて行う予定です。

本ページに関するお問い合わせ先

日田市教育庁教育総務課学校管理係
〒877-8901 大分県日田市田島二丁目6番1号(市役所別館3階)
電話番号:0973-22-8234(直通)
ファックス:0973-22-8248
メールアドレス:ksomu@city.hita.oita.jp